

2023年4月30日 午前礼拝
「御霊の実について③」 説教:大木英雄牧師

【メイン聖句】 マタイ 6:9

だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。』

【引用聖句】 ガラテヤ 5:22,23

22. しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、
23. 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。

【説教要約】

先週の堺先生のメッセージは「義のために迫害されている者は幸いです。」でした。義とは神様と正しい関係ですから、「御名をあがめること」は神様と正しい関係ですから、悪魔の攻撃を受けて迫害されるのです。

神様に喜ばれようとすれば悪魔から攻撃を受けるのです。これは旧約ではダビデが「御名をあがめよう」とすればするほど、サウルから攻撃を受けたのです、私たちは今御霊の実について学んでいます。

御霊の実の（1）で愛、喜び、平安について学びました。

マタイ 22:39

『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいてつです。

『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』を守れば主の御名をあがめることになります。主の御名をあがめることを一番嫌うのは悪魔です。ですから悪魔はご夫婦を攻撃して、ご夫婦が駄目になったケースをたくさん見えています。いくら悪魔に攻撃されても、御名があがめられますように、と祈って悪魔に勝利しましょう。

(3) 平安

私はいつも平安ですが、人間関係がこじれると平安がなくなります。そんな時でも、御名があがめられますようにと祈っていると平安が与えられます。

(7) 信仰

御霊に満たされている人は、神の力を十分に信頼して歩むことが出来るのです。

ピリピ 4:19

また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください。

教会では信仰という言葉は何百回も聞きます。我が家でも「恵み」のご主人は大学を2つも出ています。聖書理解はものすごく深いのです。しかし信じる事は難しいと言っています。イエス様が神様だと信じることは簡単ですが、イエス様を信頼する事は難しいと言っていました。

マルコ 10:13~15

13. さて、イエスにさわっていただくとして、人々が子どもたちを、みもとに連れて来た。ところが、弟子たちは彼らをしかった。
14. イエスはそれをご覧になり、憤って、彼らに言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。止めてはいけません。神の国は、このような者たちのものです。
15. まことに、あなたがたに告げます。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、はいることはできません。」

日曜学校の子供は、ヨナがお魚に食べられてお魚のお腹の中で3日間生きていて3日目に陸地にはきだされた事を、簡単に信じるのです。私などは「お魚なお腹の中で3日間も生きて居られるのか」と考えて信じられないのです。

別の話になりますが、日本人は聖書を神様の言葉と信じていません。相撲を取るときは同じ土俵のうえでないと相撲になりません。ですから私はまず聖書が神の言葉であることを証明します。女性であれば神様が人間を造られた証拠を示します。

又、太陽系の模型を通して、模型でも偶然には出来ない。まして本物の太陽系が偶然に出来るはずがない。清瀬のリハビリ病院で私が説明したら、模型は偶然に出来ないかもしれないが本物は偶然に出来たと言い張るのです。私は女性と議論しても、その女性は、「本物は偶然に出来た」と言い張るのです。私は啞然としてそれ以上議論をしませんでした。

日本は学校で進化論を教えられているので、100人中99人まで進化論を信じているのです。私は「進化論の致命的な間違い」というトラクトを作りましたので、それを多くの人に読んでもらおうと思います。私の勉強部屋など1週間もすれば、本とかボールペンとかナイフとかハサミで、散乱します。

しかし進化論の教えは「整理整頓されていく」という教えです。無茶苦茶な教えを悪魔に騙されて信じているのです。大学の生物の先生は全部進化論を信じています。創造論を教えると首になるのです。

ローマ 10:17

そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

数学の問題を解ける人と解けない人の違いは、公式を信頼しているかどうかです。Aの公式でだめならBの公式、Bの公式でだめならCの公式、Cの公式でだめならD公式という風にやれば解けるのです。滝山教会である小学生が 友達の救いのために祈っていました。1

年ほど祈って「神様はもう聞いてくださっていると思うので祈るのを止める」と言うのです。私は驚きました。その友達はしばらくして救われました。

マルコ 10:13~16

13. さて、イエスにさわっていただくとして、人々が子どもたちを、みもとに連れて来た。ところが、弟子たちは彼らをしかった。
14. イエスはそれをご覧になり、憤って、彼らに言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。止めてはいけません。神の国は、このような者たちのものです。
15. まことに、あなたがたに告げます。子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、はいることはできません。」
16. そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。

(8) 柔和

生まれながらの人間は、高慢、おうへい、利己的、自己中心的な性質を帯びています。しかし、御霊に満たされるとき、謙遜、穏やか、従順になり、他の人から信頼されやすい人間になります。世界で最も柔和の模範はイエス様です。

イエス様は万物の創造者であられたのに、ご自分を卑しくし、仕える者の姿を取り、十字架でご自分の命を犠牲にされました。人間を創造されたイエス様が、ご自分が創造した人間から、嘲笑され、ののしられ、ツバキをかけられている姿を見るのです。そのような状態にされてもイエス様はののしり返されないのです。

マタイ 26:47~54

47. イエスがまだ話しておられるうちに、見よ、十二弟子のひとりであるユダがやって来た。剣や棒を手にした大勢の群衆もいっしょであった。群衆はみな、祭司長、民の長老たちから差し向けられたものであった。
48. イエスを裏切る者は、彼らと合図を決めて、「私が口づけをするのが、その人だ。その人をつかまえるのだ。」と言っておいた。
49. それで、彼はすぐにイエスに近づき、「先生。お元気で。」と言って、口づけした。
50. イエスは彼に、「友よ。何のために来たのですか。」と言われた。そのとき、群衆が来て、イエスに手をかけて捕えた。
51. すると、イエスといっしょにいた者のひとりが、手を伸ばして剣を抜き、大祭司のしもべに撃ってかかり、その耳を切り落とした。
52. そのとき、イエスは彼に言われた。「剣をもとに納めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。
53. それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今わたしの配下に置いていただくことができないとも思うのですか。
54. だが、そのようなことをすれば、こうならなければならないと書いてある聖書が、どうして実現されましょう。」

1 軍団 = 6000 人、12 軍団 = 7 万 2000 人

イザヤ書 53:6

私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主（父なる神）は、私たちのすべての咎（罪）を彼（キリスト）に負わせた。

イエス様はそのような力をお持ちなのに、そのような力をお用いにならずに、イエス様は柔和であられた。それは私たち罪びとが永遠の命をいただくためです。イエス様は御自身のことを、

マタイ 11:29

わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。

このような柔和さは私たち罪人にはありません。これは御霊に満たされなければできません。

(9) 自制

自制は激怒、怒り、恐怖、嫉妬などのクリスチャンの感情的な爆発の問題を解決する、聖霊に満たされた人は、信頼される人となるのです。どんなクリスチャンでも規則正しくデボーションをしなければ、聖霊に満たされることはできません。これらの実が自分がないからと言ってあきらめる必要はありません。

Iヨハネ 1:9

もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

悔い改めればよいのです。

主の御名をあげる

創世記 1:26&27

26. そして神は、「われわれに似るように、われわれのかたちに、人を造ろう。そして彼らに、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配させよう。」と仰せられた。

27. 神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

ヨハネ 4:24

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

神様は霊的な存在なので人間も霊的な存在として創造されたのです。

創世記 2:15~17

15. 神である主は、人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。
16. 神である主は、人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。
17. しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

神様は人間をエデンの園に置き「神の王国を造ろうとされました」
神の王国の王様 = イエス様
イエス様の権威

マタイ 28:18

イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

ラージャス先生はいつも、イエス様は天においても地においても、一切の権威を持っていると言っていました。これは日本人がイエス様の権威を認めなくても、神様が神の王国を造られたとき、神様はイエス様に一切の権威を与えられたのです。私たちはイエス様の権威を信じましょう、日本は仏教王国ですが、仏教の権威よりもイエス様の権威の方が上なのです。

神の王国の市民はクリスチャンです。神様がこんなに素晴らしく神の王国を造ってくださったのにアダムとエバは悪魔の誘惑に負けてしまったのです。アダムとエバは善悪の知識の木からとって食べてしまったのです。

創世記 3:5&6

5. あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」
6. そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。

アダムとエバは善悪の知識の実を食べたので、悪魔の家族になってしまったのです。

ローマ 5:12

そういうわけで、ちょうどひとりの人（アダム）によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、…それというのも全人類が罪を犯したからです。

アダムは全人類の代表なのでアダムが罪を犯したので、全人類は悪魔の家族になってしまったのです。

ヨハネ 3:16

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

神様は天と地を創造された神様
その一人子=イエス様
「お与えになった」という意味
人間は罪人です

マルコ 7:22

姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、

姦淫=男女が性的な罪を犯す。

貪欲=人間はこれで満足ということがない、

欺き=「うそ」子供に嘘のつき方を教えるお母さんはいません、しかし子供はお母さんをだますような嘘をつきます。

「そしり」=人の陰口を言う、その人の前ではその人の悪口を言う人はいません。しかしその人のいないところでその人の悪口を言います。

高ぶり=人間は神様に創造された。神様は人間に必要なものをすべて創造された、太陽、空気、水、食べ物、しかし人間は神様を信じなくともよいという、これほどひどい罪はありません。

ヘブル 9:27

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

人間が死ぬことは全ての人認めています。しかし死後裁きがある事は、一度死んで蘇った人でなければ誰も言うことはできません、しかし一度死んで蘇ったイエスさまだけが言うことができます。

使徒 9:1~9

1. さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、
2. ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。
- 3.ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。
4. 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」という声を聞いた。
5. 彼が、「主よ。あなたはどなたですか。」と言うと、お答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。
6. 立ち上がって、町にはいりなさい。そうすれば、あなたのしなければならないことが告げられるはずです。」
7. 同行していた人たちは、声は聞こえても、だれも見えないので、ものも言えずに立っていた。

8. サウロは地面から立ち上がったが、目は開いていても何も見えなかった。そこで人々は彼の手を引いて、ダマスコへ連れて行った。
9. 彼は三日の間、目が見えず、また飲み食いもしなかった。

サウロは律法を守ることで天国へ行けると固く信じていた人です。しかしクリスチャンはキリストは死人の中から三日目に蘇ったと信じるだけで天国へ行けると信じている人たちです。そしてクリスチャンの数が爆発的に増えてきたのです。

サウロはそのような間違った教えを信じているクリスチャンを皆殺しにすべきだと考えて、大祭司の所へ行って、キリストが三日目に死人の中から蘇ったと信じているクリスチャンを皆殺しにしてもよいという、任命書をもって来たのです。

そしてクリスチャンを捕まえていました、ところがダマスコに来た時、天からまばゆい光の照らされたのです。そして死人の中から三日目に蘇ったイエス様から「サウロ、サウロなぜ私を迫害するのか」という声を聞いた。

サウロが「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、お答えがあった「わたしはあなたが迫害しているイエスである」私たちにはサウロの驚きを理解することはできません。サウロはイエス様が死人の中から蘇ったと信じているクリスチャンを殺していたのです。

ところがサウロは死人の中から三日目に蘇ったイエス様に会ったのです。サウロにイエス様が死人の中から三日目に蘇った事伝道すればその場で殺されます。サウロに伝道できる人は一人もいません。伝道すればその場で捕まえられて殺されるのです。

死人の中から三日目に蘇られたイエス様ご自身が伝道されたのです。サウロはその場で目が見えなくなり三日間何も食べなかった。このことからサウロがいかに驚いたかが想像することが出来ます。

ヘブル 9:27

そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

これは三日目に死人の中から蘇られたイエス様の言葉です。イエス様が死人の中から三日目に蘇られたことを信じない人は死後裁かれるのです。

ローマ 5:8

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

神様は十字架の上で私たち罪びとが受ける神の裁きの身代わりとしてご自分の御子キリストをお与えになられたのです。神の王国で最高の権威を持ち、私たちの身代わりとして十字架せ死なれたイエス様の御名をあがめましょう。